

適用規格						
定格	使用温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)		
	電力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 18 GHz)		
	特殊性	----	使用ケーブル	----		
性能						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		—	—	
電気的 性能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 10 mΩ 以下 外部コンタクト 10 mΩ 以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○	
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡、絶縁破壊がないこと。	○	○	
	リターンロス	周波数 0 ~ 18 GHzにて測定する。	リターンロス 20 dB以上	○	○	
	挿入損失	周波数 ~ GHzにて測定する。		—	—	
機械的 性能	単体挿抜力 (HRM側)	の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—	
	単体挿抜力 (SMP側)		挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—	
	繰返し動作	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 18 mΩ 以下 外部コンタクト 18 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
環境的 性能	耐振性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で3軸方向各10サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸方向各3回試験する。		○	—	
	ケーブルクランプ部 の引張り強度	mm/分でケーブル軸をケーブル抜け、断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。		最大荷重 N以上	—	—
環境的 性能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 -10 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	① 縁抵抗: 100 MΩ 以上 (高湿時) ② 縁抵抗: 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	温度サイクル	温度 -65 → -- → +125 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		リターンロス 20 dB以上	○	—
△の数		訂正記事	設計	検図	年月日	
備考			承認	KY. SHIMIZU	16.11.04	
RoHS適合品			検図	KY. SHIMIZU	16.11.04	
			担当	TY. OZAKI	16.11.04	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			製図	TY. OZAKI	16.11.04	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番		SLC-364325-00-00		
HRS	製品規格表		製品名		HRMP-SMPP-18G	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL311-0006-0-00	
					△ 1/1	